

妊娠 出産 乳幼児期

ネウボラって?

フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。

【電話相談／仙北市保健課】  
《固定電話》☎ 43-2252  
《携帯電話》☎ 080-2813-0835



仙北市ホームページはコチラ!



# 仙北市版母子手帳アプリ「なないろ」がスタートしました

point2 / 育児情報が確認できます  
乳幼児健診の日程や子育てイベント、手続きの情報など、育児に関する必要な情報が手に入りやすくなります。  
《例》乳幼児健診・健康相談、子育てイベント、各種手続きに関する情報

point1 / 子育て施設を検索できます  
お住まいの地域周辺の医療機関や公園、子ども園・保育園など、出産から子育てに備える必要な施設を検索できます。また、検索結果の地図表示や現在地から近い施設を表示することもできます。



登録はこちら!



point2 / 医療機関の一覧がみられます  
仙北市内の医療機関や医療機関ごとに接種可能な予防接種一覧が確認できます。

point2 / 日々の思い出を記録できます  
「できたよ記念日」として妊娠中や赤ちゃんが生まれたからの出来事を写真とコメント付きで記録できます。  
《例》胎動を感じた、沐浴をはじめた、寝返りをした、伝い歩きをした

「なないろ」は仙北市が提供する、安心して使える子育てアプリです。子どもの成長記録や思い出を家族みんなで共有できます。ぜひ、お持ちの母子手帳と合わせてお使いください。「なないろ」は子育てに関するお役立ち機能がたくさんあります。

point1 / 予防接種のカンタン管理!  
スケジュール管理ができます  
誕生日と接種状況に応じて最適なスケジュールをお知らせします。子どもの急な体調不良など、突然の予定変更にも対応できます。接種予定日が近づくと事前にプッシュ通知でお知らせします。忙しい毎日でも予定日を忘れず安心です。

point1 / 成長をカンタン記録!  
妊娠中からの記録をグラフで確認できます  
お母さんやお腹の赤ちゃんの体重を入力すると、自動でグラフとなり、体重の変化を確認できます。赤ちゃんが生まれた後も身長や体重の入力ができ、成長の記録ができます。

このほど、西明寺小学校で地域学校協働本部の実行委員会が開かれました。この日の会議の内容は、授業で行う「地域めぐり」のコースを決めるというもので、そのアイデアを出し合いました。  
委員からは「子どもたちは、地元の名産をよく知らない。まずはそこを覚えさせることが大切ではないか」「〇〇は、地域の〇〇さんから話をもらったらよいのではないか」「〇〇を知ってほしいので、ぜひ〇〇は見せたい」など活発な意見が出されました。楽しい雰囲気ながら、各学年のコースの原案ができあがりました。どのコースも行ってみたいと思いました。

### 地域学校協働活動 地域・学校で子どもを育てます



たいと思わせる内容でした。地域にも、学校にも有益な地域学校協働活動。地域の方が先生となって授業が展開されます。かたくりの花見学に行ってきた鈴木莉央さん(2年)は、「地域の先生のお話で、アリの話を聞いてびっくりしました。かたくりの花がとてきれいでした」と話してくれました。  
仙北市は教育人材や素材が豊富であることを改めて感じました。

地域学校協働活動とは:  
地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。  
次の時代を担う子ども達に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働します。  
〔これからの学校と地域〕  
文部科学省より引用)

# またうら

心豊かな教育文化のまち  
《仙北市教育委員会より》  
第115号

角館中学校で例年行われている全校写真撮影がこのほど行われました。驚くべきは、松木内川堤の桜をバックに撮影することです。  
小林直嗣さん(2年)は、「こんなすばらしい桜の前での全校写真は、自分にとって宝物。この景色を自分たちもずっと守っていききたい」と話してく



5分もかからず見事に整列!

### 神代小学校 おいしい顔ってどんな顔?



自然と笑顔に。絶品和食メニュー!

給食センターが統合してまる1年。とびきりおいしい給食は、子どもたちの楽しみの一つになっています。そんなお昼の時間に神代小学校3年生の教室に伺いました。  
藤原奏愛さんは、「給食を食べると、午後もうがはるうと

いう気持ちになる。今日の肉じゃがが特別においしかったと笑顔で話してくれました。  
栄養教諭の飯塚香寿恵先生は、「子どもたちには、主食・主菜・副菜・汁物が揃っている食事をフランスよく食べて元気に学校生活を送ってほしい。今日は健康食として世界から注目されている和食メニューとして、旬のたけのこを使った「わかたけ汁」を提供した。行事食や旬の食材から季節を感じ、様々な味に慣れ親しんでほしい」と話していました。  
骨太な子どもの育成にも役割を果たす給食。今後のメニューが楽しみです。

### 教育委員会 今年度の2つのキーワード

2 仙北市プライドをもつ子どもの育成  
仙北市では、「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」をめざし、「ふるさと教育」を行っています。ふるさとに誇りをもてる子どもの育成を目指します。

1 骨太の子どもの育成  
65歳以上の高齢者1人を、生産年齢者(15歳~64歳)が支える人数が年々減っています。1960年に11.2人で支えていたのが、2055年には、わずか1.3人になる予想です。  
少ない人数でも社会を支えることができるように、知・徳・体バランスのとれた骨太の子どもの育成を目指します。